

1. 屋外広告物地域ルール/工事中の魅力付け

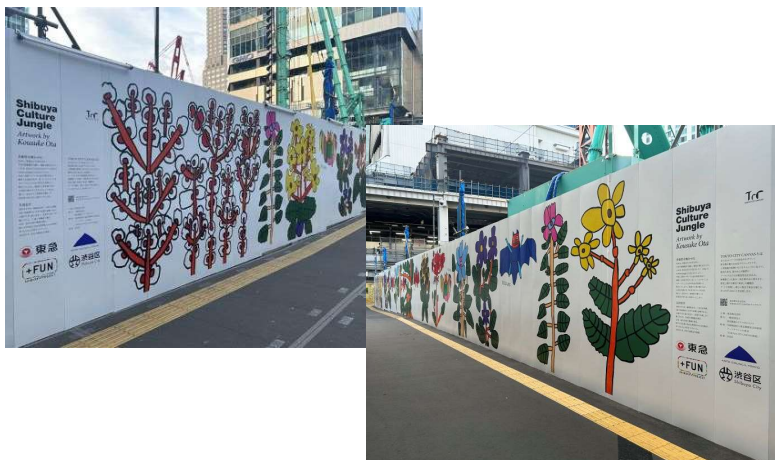
<工事中の媒体等を活用した広告掲出>

- ・JR駅改良工事解体足場を活用した広告掲出を開始（写真左）
- ・旧東急百貨店東横店の解体工事足場および渋谷憲章シートでの一体的な広告を展開（写真左中）
- ・東口地下広場や工事中仮囲いでの広告展開により、まちの賑わい創出および歩行者空間の美装化を実施（写真右中・右）



<TOKYO CITY CANVAS 仮囲いアート掲出>

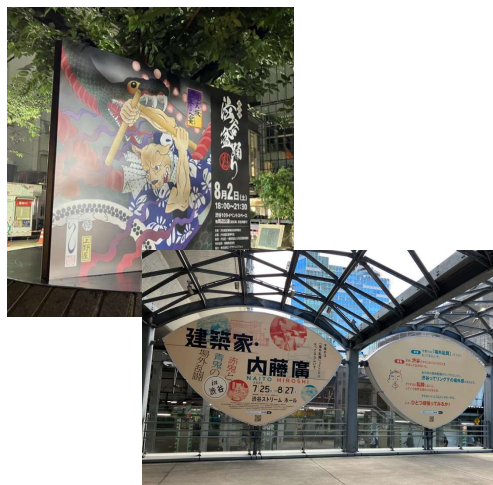
- ・東京都が推進する文化プロジェクト「TOKYO CITY CANVAS」に係る助成プログラムに東急(株)が応募し採択
- ・当法人はアート掲出に係る行政手続きにて協力



2025年8月18日から公開

<まちの情報掲出>

「渋谷盆踊り」や渋谷ストリームにて開催された展覧会「建築家・内藤 廣」に関する案内等を掲示



<アーティスト公募画 "TYPELESSVol 3">

- ・落書きやステッカー問題をアートの力で解決し、これから世界に羽ばたこうとするアーティストに活動の場を提供するアートPJ
- ・2026年2月25日から第3弾の掲出を開始（第1弾マークシティ跨道橋支柱のリニューアル）
- ・申込件数78件から4名決定



2026年2月25日から掲出

①渋谷駅前エリアマネジメント 昨年度の活動報告

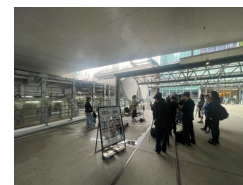


2. 施設の管理（イベント・賑わい施策）

<国道246号横断デッキにおける音楽イベント等の実施>

- ①国道246号横断デッキの利便性のPRや回遊促進を目的とし、渋谷各所で開催される「SHIBUYA OPEN LIVE」や「Shibuya Street Live」との連動企画等として実施
 - ②渋谷リバーストリートとの回遊促進や地域住民等との連携を目的とし、リバーストリートで実施される「Shibuya Slow Stream」企画の一部を国道246号横断デッキでも実施
- 日程：①2025年5月30日(金)～31日(土)、8月16日(土)～17日(日)、10月18日(土)～19日(日)、11月1日(土)、11月5日(水)～6日(木)
②2025年11月8日(土)

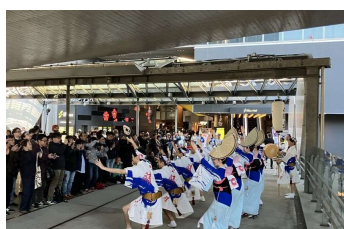
場所：渋谷ストリームと渋谷スクランブルスクエアを繋ぐ国道246号横断デッキ上



<国道246号横断デッキにおける「渋谷阿波おどり2025」の実施>

渋谷各所で開催されるイベントと連携し、街のにぎわいの創出および回遊性の促進を目的として、音楽イベント等へ続く新たなイベントとして実施

日程：2025年11月3日(月)
場所：国道246号横断デッキ上



<「渋谷駅前クリーンキャンペーン」への参加>

渋谷区主催のクリーンキャンペーンに事務局員が参加し、駅周辺の清掃活動を実施

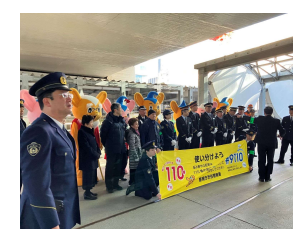
日程：2025年4月28日(金)、10月31日(金)
場所：駅周辺、国道246号横断デッキおよび西口地下歩道



<国道246号横断デッキにおける「110番の日」イベントへの協力>

渋谷警察署主催の110番の日イベントの開催に協力

日程：2026年1月10日(土)
場所：国道246号横断デッキ上



①渋谷駅前エリアマネジメント 昨年度の活動報告



2. 施設の管理（清掃・維持管理）

<清掃活動>

- ・ハチ公広場や東口地下広場、国道246号横断デッキ・沿道・西口地下歩道にて、清掃協力を実施
- ・ゴミ拾いや巡回清掃を中心に、デッキの排水溝清掃、落書き消しやガム跡取り、設備故障の緊急対応等も必要に応じて実施することで、快適な歩行空間の維持に協力



東口地下広場



国道246号デッキ



西口地下歩道

3. 情報発信

<HP、Instagram等による情報発信>

HP、Instagram、YouTubeで、当法人の活動内容や会員の情報等を発信



渋谷駅の将来完成イメージ
模型が渋谷スクランブル
スクエア12階に常設



YouTubにて「渋谷駅街区計
画完成イメージ動画」を公開

<駅周辺トイレMAP制作>

SHIBU HACHI BOX来場者数の急増に伴い、トイレ等の所在についての問い合わせが多いため、案内MAPを作成



<SHIBUYA WINTER ILLUMINATION2025-2026>

渋谷駅ハチ公広場とShibuya Sakura Stage桜丘広場にてイルミネーション点灯式を開催

点灯期間：2025年11月21日(金)～2026年2月28日(土)
点灯時間：17:00～23:00



ハチ公広場・道玄坂
(点灯式)



Shibuya Sakura Stage
桜丘広場 (点灯式)

4. 広場の利用（東口地下公衆トイレ含む）

<東口地下公衆トイレ:マナー啓発デザイン掲出>

利用者起因による便器詰まり等が頻発していたため、抑止策としてマナー啓発のデザインを掲出。



2025年7月24日掲出開始

<SHIBUYA ART AWARD 2025 ノミネート展>

国内外から幅広く作品を募集し現代社会とアートの新たな関係を提示する優れた作品を選出・展示・表彰するアワードを実施（「渋谷芸術祭2025」内の企画として開催）

日程：2025年10月31日(金)～11月2日(日)

場所：渋谷駅東口地下広場



<東口地下広場における音楽イベント（SHIBUYA OPEN LIVE・Shibuya Street Live）>

街の賑わいづくり等を目的として渋谷各所で開催される「SHIBUYA OPEN LIVE」・「Shibuya Street Live」の一環として開催。

日程：2025年5月30日(金)～6月1日(日)、8月16日(土)～8月17日(日)、10月18日(土)～10月19日(日)、11月5日(水)～11月6日(木)

2026年2月13日(金)～2月15日(日)

場所：渋谷駅東口地下広場（道路協力団体として当法人がイベントを主催・共催する国道246号横断デッキとは異なり、当法人は会場を提供）



①渋谷駅前エリアマネジメント 昨年度の活動報告



5. 観光

<SHIBU HACHI BOX>
・パートナー企業（カシオ計算機）と連携し、SHIBU HACHI BOX内に、大型G-SHOCKを設置 アーティストとコラボしたスペースにするなど、賑わいを演出
・来場者（1.5万人/月）、相談者（5千人/月）は今年度から大幅に増加



<ハチ公像後方仮囲いにおける昔の駅前風景写真の掲出>
ハチ公像後方の枯山水一部撤去工事に伴い、設置された仮囲いの賑わいを創出するため、昔の渋谷駅前の風景写真を掲出



2025年3月26日から6月30日まで掲出

6. 環境活動

<GX SHIBUYAフェス 2025>
未来を担う子どもたちが環境について学び・発表し、企業の取り組みと交わることで「身近な暮らしと地球のつながり」を考える機会の提供を目的とし、一般社団法人SWITCHと開催
日程：2025年9月18日(木)・19日(金)
場所：渋谷サクラステージ3階「BLOOM GATE」



<環境啓発動画放映>
一般社団法人SWITCHとの協業で制作した環境啓蒙動画を、当法人が管轄しているサインージにて放映



7. 防犯防災の取り組み

<合同防犯訓練の実施>
実施日：2025年10月1日(水)
渋谷駅東口地下広場に於て、渋谷警察署と有事の発生を想定した合同防犯訓練を実施



■これまでの検討経緯・概要

- ・これまでのまちづくり調整会議の中で、駅前サインをよりわかりやすくすることや、駅前サインのエリア外にある追加開発への対応について議論を行ってきた。
- ・2024年度は、渋谷駅前サインガイドライン運営委員会事務局として、歩行者ネットワークに展開するサインのルール素案作成、将来の開発を見越した長期基本方針素案の作成、駅周辺サインの改善施策の検討を行った。
- ・2025年度は、2024年度に実施した駅周辺のサイン改善施策について、その有効性を評価する取組を行った。

①歩行者ネットワークサインルール（案）の作成

周辺開発施設が駅前サインのエリア外にあるため、駅前サイン・公共サインのすみわけを考慮したサイン設置が必要

- エリア外の関係者の巻き込み範囲を設定（右図参照）
- 新規追加箇所の位置関係等から考え方をパターン別に整理

②長期基本方針（案）の作成

関係者の予算確保や当委員会の活動が円滑に行われるよう、周辺開発状況を見越し、更新に関する基本的なフローやスケジュール感等、長期方針の素案を作成

③渋谷駅周辺のサイン改善検討

来街者にとってわかりやすい案内誘導とするための施策を検討

- 結節広場シンボルの掲出強化
- ガイドラインの一部見直し
- 工事中サインとの連携等

2025年度 → 施策の**効果検証**

■渋谷駅周辺の開発状況



渋谷駅周辺のサイン改善施策の効果検証

1. 目的	- 駅周辺の案内サインは、渋谷駅前サインガイドライン及び渋谷区公共サインガイドラインに基づき設置。 - 案内サインは竣工した施設に順次設置されているが、駅前サイン・公共サインと工事中サインが混在している状況であり、各サインの連続性に課題がある。 2024年度は、各サインの改善施策を検討の上で各事業者が対策を実施。 2025年度は、2024年度に行った施策の効果と課題を明らかにするとともに、今後のさらなる改善検討に向けた基礎資料の収集を目的とし、効果検証を行った。
2. 調査概要	1) 調査対象 - 対象施設：駅周辺に設置されている案内サイン（駅前サイン、公共サイン、工事中サイン） - 対象者：通勤・通学者などの一般利用者 2) 調査方法 - モニターによる現地観察と評価（チェックリスト形式） - インタビュー調査（利用者への簡易ヒアリング） - 写真撮影による記録 3) 調査項目 - サインの情報量の過不足 - 目的の情報の認識しやすさ - サイン間の誘導の連続性 - サインの視認性（大きさ、色、配置、量） - 情報の正確性と充実度 - 利用者の理解度と満足度 <効果検証・課題抽出の流れ> モニター調査の実施 ■個別調査結果の整理 →モニターごとの個別結果の整理 →自由記述等の整理 ■ルート・エリア別の課題整理 →ルート別の調査結果を束ねて整理 →エリア別に課題を整理 ■渋谷駅周辺サインにおける課題整理 →渋谷駅周辺サインにおける課題まとめ →完成済サイン・工事中サイン、情報・視認性・連続性の観点で課題等を整理

渋谷駅周辺のサインについて

・ 青字はプラス評価 ・ 赤字はマイナス評価

完成済みエリア

課題の分類	具体的な意見
情報 (目的の情報の見つけやすさ)	地図に出入口番号、建物名の表記があり分かりやすい。
	誘導サインの矢印の向きが正確。
	駅構内は地図が多く分かりやすい。
	地図に出入口番号、建物名の表記があり分かりやすい。
見やすさ (デザイン、情報が認識しやすいか)	地図で現在地が把握できるため分かりやすい。
	結節広場があるフロアや、結節広場までの距離について表記があれば、さらに分かりやすい。
	地図の情報量が多い。
	駅から出口までのサインに結節広場の表記がない。
見つけやすさ (サインが見つけやすい場所にあるか)	結節広場のシンボルマークが異なっている。
	地図上で通行可能ルートの判別が難しい。
	広域・中域での地図がそれぞれあり分かりやすい。
	EV番号が分かりやすい。
連続性 (サインが連続してあるか)	カテゴリーごとに色分けがされていて分かりやすい。
	サインが劣化していない。
	矢印のサインが分かりやすい。
	シンボルマークのアイコンが小さい。
見やすさ (サインが見つけやすい場所にあるか)	結節広場に気づけない。
	サインが汚れている。
	商業施設周辺はサインが充実している。
	駅周辺の地図は見つけやすい。
見つけやすさ (サインが見つけやすい場所にあるか)	シンボルマークの設置を増やすべき。
	EVを出た方向にサインがない。
	誘導サインの設置場所が悪い(階段途中は見づらい)。
	地上や結節広場にサインが少ない。
連続性 (サインが連続してあるか)	駅から出口まで、地図が多く分かりやすい。
	駅から離れた場所でも地図がある。
	商業施設間のサインが不足している。
	歩道橋や道路にサインが少ない。

■課題整理の結果

- 現サイン計画における誘導の考え方や表記方法等は概ね高評価
- サインの設置量や設置場所等、一層わかりやすくするための課題も把握

工事中エリア

情報 (目的の情報の見つけやすさ)	地図の情報量が多い。
	連続するサインの情報が異なっている。
	誘導サインの情報が少ない。
	地図に結節広場の記載がない。
見やすさ (デザイン、情報が認識しやすいか)	工事中サインは、文字が大きく認識しやすい。
	Uターンの表記が分かりやすい。
	サインが小さく見づらい。
	地図の方角が分かりづらい。
見つけやすさ (サインが見つけやすい場所にあるか)	サインが充実している。
	目線の先にサインがあり見つけやすい。
	地図が見つけづらい。
	改札周辺のサインに拠点広場の表記がない。
連続性 (サインが連続してあるか)	ESCを降りた時など、サインが途中で途切れる

